

教育研究評議会議事録（第192回）

日時：令和2年 6月25日（木） 14時58分～17時13分

場所：事務局第一会議室及びオンライン会議

出席者：小川，藤代，喜多，水野，佐々木，比屋根，藪，宮本，山本（欣），山本（昭），
宇佐美，八代，倉島，上村，田代，佐藤（繁），関野，伊藤，横山，松岡，丸山，
境野，鎌田，清水，長田，大石，船崎，村上，山下

配付資料

- | | |
|-----|--|
| 議題1 | 平成31事業年度に係る業務の実績及び第3期中期目標期間（平成28～31事業年度）に係る業務の実績に関する報告書等 |
| 議題2 | 岩手大学の将来構想について |
| 議題3 | 教育研究施設等の見直しについて |
| 報告1 | 国立大学法人岩手大学と株式会社イノベーションラボ岩手との連携協力に関する協定書について |
| 報告2 | 事務組織の一元化について |
| 報告3 | 教員人事に関する報告について（人文社会科学部） |
| 報告4 | 学長・副学長会議報告 |
| 報告5 | 令和2年度入試委員会（第2回）記録 |

議事に先立ち，前回議事録について原案のとおり議事録を確定することとした。

議 題

1．平成31事業年度に係る業務の実績及び第3期中期目標期間（平成28～31事業年度）に係る業務の実績に関する報告書等について

学長から，平成31事業年度に係る業務の実績及び第3期中期目標期間（平成28～31事業年度）に係る業務の実績に関する報告書等について諮る旨が述べられ，戦略企画・評価分析室特命課長から，資料に基づき説明があった。学長から，今回は4年目終了時の実施状況を報告するものであり，最終的な達成報告は6年目終了後であるが，この報告書等の評価が次期の運営費交付金に反映されるため重要な報告書であるとの付言があった。

審議の結果，修正がある場合は，「現況調査表（教育）（研究）」については明日発送予定であるため本日中に戦略企画・評価分析室へ報告すること，「中期目標の達成状況報告書」及び「業務実績報告書」については7月3日（金）までに報告することとし，今後，提出スケジュールに沿って進めることを了承した。

2．岩手大学の将来構想について

学長から，資料に基づき，継続審議となっている岩手大学の将来構想について説明があり，前回の本会議後に意見を頂いたものについては検討中であるが，各目標における戦略の具体的な取組について各学部等において検討のうえ提案頂きたいとの依頼があった。また，資料に記載されている「具体的な取組」は，「文部科学省との徹底対話（令和2年

2月17日)」において提出した内容を記載しているが、今後、各学部等から提案された内容を精査のうえ組み込んで岩手大学総体の取組として策定し、第4期の中期目標・中期計画の具体化に繋げていきたいとの発言があった。

その後、資料に記載されている目標・戦略についての質疑や提案など種々意見交換が行われ、それらを含め各学部等から提案される内容を執行部で検討のうえまとめ、次回の本会議でさらに意見交換を行うこととした。

3. 教育研究施設等の見直しについて

学長から、教育研究施設等の見直しについて諮る旨が述べられ、藤代理事から、資料に基づき、今回の提案に至るまでの経緯を含めて説明があり、令和2年10月に改編することについて提案があった。

教育研究施設等に所属している教員の経過措置、教学マネジメントセンターの体制や専任教員の選任等、RI 総合実験センターの位置づけ、新組織の実施体制などについて質疑応答が行われた。審議の結果、さらに意見がある場合には7月15日(水)までに戦略企画・評価分析室へ報告し、次回の本会議で再度審議することとした。

4. その他

なし

報 告

1. 国立大学法人岩手大学と株式会社イノベーションラボ岩手との連携協力に関する協定書について

比屋根副学長から、資料に基づき、株式会社イノベーションラボ岩手と連携協力に関する協定を締結することについて報告があった。

2. 事務組織の一元化について

佐々木理事から、資料に基づき、事務組織の一元化の延期について報告があった。

3. 教員人事に関する報告について

教員人事について、資料に基づき、人文社会科学部から1件報告があった。

4. 学長・副学長会議報告について

5. 入試委員会報告について

資料のとおり

6. その他

なし

最後に、学長から、次回の教育研究評議会を、定例の7月30日(木)の15時から開催することが述べられた。